

事業番号	11
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	思い出に残る1学校1行事推進事業				担当課	学校教育課	
事業期間	開始年度	平成12年度～	終了予定年度		担当係	学校教育係	
総合計画	めざすまちの姿	1人が育つまち					
	目標	② 生きる力を育む					
	成果指標	学校が楽しいと答える児童・生徒の割合			中間目標 (H27)	中93%	最終目標 (H32)
予算区分	一般会計	10 款 教育費	1 項 教育総務費	3 目 教育指導費			
	細事業	1081 思い出に残る1学校1行事創設事業					
位置づけ	関連計画						
	根拠法令						
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 ・ <input type="checkbox"/> 国 ・ <input type="checkbox"/> 県 ・ <input type="checkbox"/> その他						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（						
対象(誰のため)	<input type="checkbox"/> 全市民 <input checked="" type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他						
事業の目的(何のため)	生徒個々の内面的な発達の一助とする。						
内容(概要)	<p>○子どもの持っている活力を引き出し、学校の活性化を目指し、各中学校で思い出に残る学校行事を企画し、実施する。長距離ウォーク、スキー実習など各校で創意工夫した取組している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鷺津中学校 浜名湖1周ウォーク 515名</li> <li>・白須賀中学校 浜名湖遊覧ウォーク 113名</li> <li>・湖西中学校 浜名湖YOU遊ウォーク 224名</li> <li>・岡崎中学校 浜名湖ぐるリン 405名</li> <li>・新居中学校 スキー実習 143名</li> </ul>						
これまでの改善・見直しの状況	<p>平成12年度事業開始 平成14年度 鷺津中学校 シーサイドウォーキング 白須賀中学校 浜名湖・姫街道ウォーク 湖西中学校 浜名湖YOU遊ウォーク2002 平成20年 鷺津中学校 ウォーキング 白須賀中学校 浜名湖遊覧ウォーク 湖西中学校 浜名湖YOU遊ウォーク 岡崎中学校 浜名湖ぐるリン 平成23年 鷺津中学校 浜名湖1周ウォーク 白須賀中学校 浜名湖遊覧ウォーク 湖西中学校 浜名湖YOU遊ウォーク 岡崎中学校 浜名湖ぐるリン2011 新居中学校 スキー実習</p> <p>各校で生徒の実態を考慮し、事業反省、教育活動の見直しなどを通して、毎年改善し、運営方法を安全でかつ教育効果が高くなるように工夫している。</p>						

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	1,790	1,841	1,877	(内訳)
	決算	1,751	1,695		物件費(消耗品費、借上料) 1,695
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,752	1,695		
職員人件費	1,101	1,171	1,194	人工	0.1 人

### 3. 事業の評価

#### 事業の実施状況

活動指標	内容		平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率	
	学校教育課事業調査の中での事業についての満足度	%	目標	90	90	90	111%
実績			100	100			
			目標				#DIV/0!
			実績				
		目標				#DIV/0!	
		実績					

実績・改善	平成23度 活動内容	各中学校において、思い出に残る1行事を立案し、安心安全に配慮した活動計画に基づき、運営した。校外での活動であるため、下見を十分に行い、予想される危険やアクシデントに備えるための対策、救急病院の確認、生徒や保護者への説明、教職員の動きの確認など細部まで検討し、安全かつ教育効果の高い行事を運営した。				
	課題・問題点 となった事項	安全の確保（交通安全指導、熱中症対策、天候の悪化への対応、体調不良者）をどのようにするか。				
	どう対処したか	生徒への交通安全指導の徹底、水分の補給体制、雨具の用意、救護車の用意、ボランティアの活用を行い、安全で楽しい思い出に残る行事となるような対策を行った。				
	改善点	生徒の実態、行事を通しての生徒の変容、人との関わりなど教育的な効果が高まるように事前指導、事後指導を含めて、取組を反省し、次年度に生かして行くことが必要である。	効果額 H24-H23 (千円)	182千円		

自己評価	事業目的の 達成状況	生徒の心身の成長の著しい中学生の時期に、魅力のある行事を体験することを通して、多くの人と関わりながら自己の伸長を図ることができており、事業目的は達成している。				
	※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	心身ともに大きく成長する中学生の時期に、子どものもっている活力を引き出す事業が廃止されることで、学校の活性化を図るための別の活動を新たに新設する必要がある。				
	判定	<b>A 継続</b>	現行の内容で実施	事業主体	市	
	判定理由	中学生によって、子どもがもっている活力を引き出す行事は、必要不可欠である。				
今後の方向性	すべて学校で校外で行事を行っているため、安全対策を万全にして、計画し運営をしていく必要がある。					